



本町ほのぼのだより 第42号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 TEL 03-3373-1666

発行年月日：平成30年4月28日 第42号

第42回 本町図書館 「個性ある図書館」展示

エキゾチック・アジア

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第42回目となる今回は、「エキゾチック・アジア」と題して、「東洋の美術」をテーマにした展示をお届けします。

ユーラシア大陸のおよそ80%を占めるアジア。アジアの北東にある日本には、中国・朝鮮半島はもとより、東南アジア、西域、インド、西アジアの各地域から多種多様な文化が伝来しました。日本の芸術を考えると、アジア各地域からの影響を認めないわけにはいきません。

今回の特集を通して、日本に影響を与えた東洋美術の素晴らしさを再発見してみてはいかがでしょうか？



展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成30年4月28日(土) ～ 6月28日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。



中央アジア以東の美術、芸術と切っても切り離せないものが仏教です。日本文化にも多大な影響を与えました。西洋でキリスト教やギリシャ神話などが多くモチーフにされたように、仏教に関する作品も多く作られ、現在に伝わっています。仏教美術には、石仏をはじめとする仏像や、仏・菩薩などを法則に従って幾何学的に配置した曼荼羅、日本では五重塔や卒塔婆に変化した仏塔、地域ごとに特色のある寺院など、様々なものがあります。ここでは、仏教美術の一例として、仏像をとりあげます。

仏像



ガンダーラ(パキスタン、2~3世紀頃)

如来坐像



中国(唐時代)

如来三尊仏龕



日本(平安時代)

釈迦如来坐像

仏教美術としてまず思い浮かぶのは仏像ですが、実は仏像が作られるようになったのは釈迦が入滅後、しばらくたってからでした。これは釈迦が入滅時に伝えた言葉を弟子たちが守り、釈迦の姿を目に見える像として偶像化するのを避けたためだといわれています。

釈迦入滅後、釈迦の遺骨である舍利を収める仏塔には、輪宝や仏足跡などの仏伝彫刻が刻まれましたが、釈迦の姿は描かれていません。

初めて仏像が作られたのは釈迦入滅から約500年後の、紀元1世紀末から2世紀にかけて、クシャーン族によってのことだと考えられています。初めての仏像は釈迦が悟りを開いた時の姿を現した「釈迦如来像」で、西北インドガンダーラで作られた石仏です。この地では、当時植民地支配していたギリシャ・ローマの影響が強いガンダーラ美術が生み出されました。また、同じころ北インドのマトゥラーでも仏像が作られています。こちらはギリシャ・ローマの影響の少ないインド的な仏像が作られました。

こののち「如来」や「菩薩」、「明王」や「天部」など様々な仏像が石仏だけでなく金銅仏、粘土で作られた塑像、木造仏など多くの形で作られていくことになります。

日本に伝来した東洋美術の宝庫

正倉院宝物



正倉院とは…

日本で古代の東洋美術が集まった場所はどこかと問われると、奈良県の「東大寺正倉院」が思い浮かぶ方が多いのではないのでしょうか。

奈良時代、大陸との交流によって集められた工芸品、文物が正倉院に保管されました。正倉院に保管された美術品は中国のみならず、シルクロードを通じて中央アジア、遠くはペルシアから集められました。外国から伝来した数々の品は日本文化のルーツの一つと言ってもよいでしょう。

正倉院の北倉に収められた宝物は、聖武天皇、光明皇后ゆかりの品です。正倉院は光明皇后が聖武天皇の冥福を祈念して、聖武天皇の遺品、調度品や楽器、文房具、遊戯具などの日用品や儀式用品、武器、薬物等を納めたのが始まりです。

また、正倉院は建造物として、国宝指定を受けています。一方、正倉院の宝物は「宮内庁による十分な「管理」が行われている」との宮内庁見解に基づき国宝、重要文化財等には指定されていません。

正倉院では毎年正倉院展が行われており、会期中は通常非公開である正倉院の宝物を実際に鑑賞できます。正倉院展では、宮内庁が調査・整理の済んだ9000点に上る収蔵品のうち、約70点の宝物が毎年展示品を入れ替えて公開されます。

螺鈿紫檀五弦琵琶



正倉院の宝物の代表格、ともいえる一つです。光明皇后が聖武天皇の七回忌に奉獻したもので「国家珍宝帳」に記載されています。

五弦琵琶は中央アジアで使われていたといわれていますが、後代ではどの地域でも廃れてしまったようで、現存しているのはこの螺鈿紫檀五弦琵琶1点のみです。

撥のあたる面や背面にはきらびやかな螺鈿で人物やラクダ、宝相華文という仏教由来の文様が施されています。

主に中央アジアで使われていた楽器ですが、素材や技法から中国で作成されたものであろうと考えられています。

参考文献 『正倉院宝物 181点鑑賞ガイド』 杉本 一樹/著 新潮社
『仏像 仏像の基本知識と特徴、見方がよくわかる』 副島 弘道/監修
日東書院本社

画像引用元：東京国立博物館 画像検索
<http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/index>





行ってみよ
う！
「東洋美術」
関連施設紹

1



「東洋館」では、西域を調査した大谷探検隊が持ち帰った作品も展示されています。

2

①東京国立博物館 (<http://www.tnm.jp/>)

住所：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
電話番号：03-5777-8600 (ハローダイヤル)



1872年に日本で最も長い歴史をもつ博物館として開設されました。広大な敷地内には、「本館」、特別展示を催す「平成館」のほか、「東洋館」「表慶館」「法隆寺宝物館」「黒田記念館」の6つの展示館と「資料館」「庭園」などがあります。約11万7000件の収蔵品の中には、89件の国宝と643件の重要文化財(2018年3月現在)があります。定期的に展示品は入れ替えられていて、訪れるたびに新たな発見があります。



3

「東洋館」は平成25(2013)年1月リニューアルオープン。中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、エジプトなどの美術品、考古資料などを展示しています。「本館」や「法隆寺宝物館」の所蔵品と見比べてみると、日本に伝わった文化をより理解できることでしょう。

画像提供元：東京国立博物館

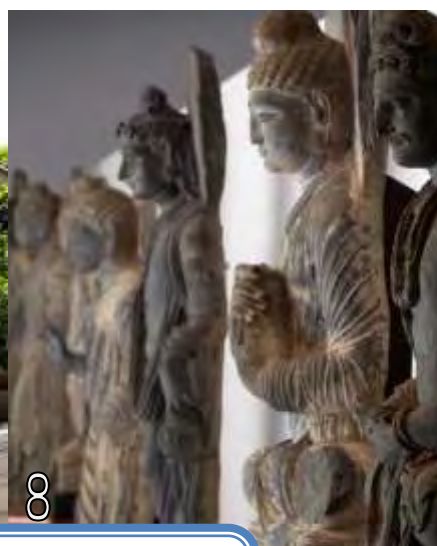
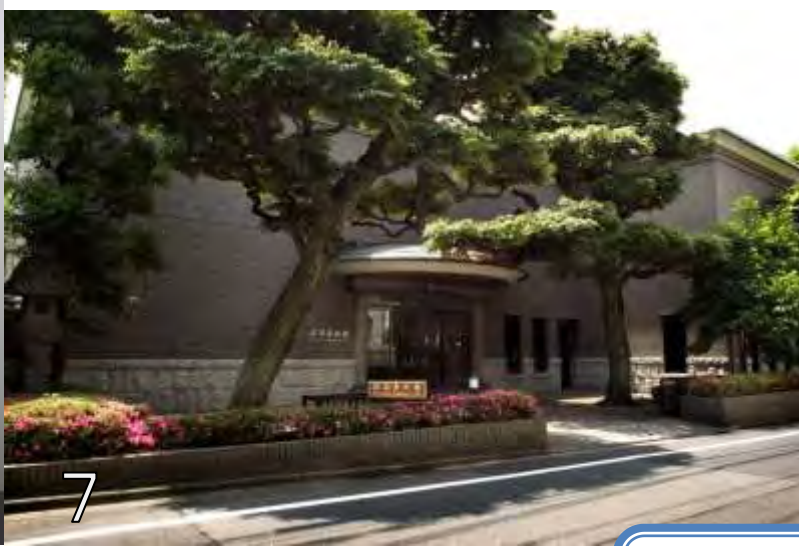
1：「本館」は国の重要文化財。日本美術の流れをたどる時代別展示とジャンル別展示で構成。2：「本館」11室では、日本の彫刻が展示されており、日本の仏像を鑑賞出来る。3：「東洋館」は東洋美術の宝庫。4：「表慶館」も国の重要文化財である。5：「東洋館」5階では、中国の青銅器などが展示されている。



4



5



松岡美術館は閑静な住宅街にあり、
ゆっくりと美術品を鑑賞できます。

②松岡美術館 (<http://www.matsuoka-museum.jp/>)

住所：〒108-0071 東京都港区白金台5-12-6

電話番号：03-5449-0251

収蔵品は日本絵画、現代彫刻のほか、ガンダーラ発掘の仏像や中世ヒンドゥー教のインド彫刻などの東洋彫刻、中国・日本、朝鮮の東洋陶磁器などがあります。特に東洋彫刻は常設展示されており、古代ギリシャ風の仏像など日本の仏像とは趣の違う仏像が見られます。



③横浜ユーラシア文化館 (<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>)

住所：〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通12

電話番号：045-663-2424

2003年3月、故江上波夫さんの寄贈したコレクションを基に開館した博物館。ヨーロッパとアジア各地の文化を伝えるさまざまな資料を「砂漠と草原」「色と形」「技」「装う」「伝える」のテーマに分けて展示しています。また、横浜ユーラシア文化館が入っている建物は、「旧横浜市外電話局」として横浜市認定歴史的建造物に認定されています。

画像提供元：松岡美術館

6：ガンダーラ出土の「菩薩半跏思惟像」（3世紀）。7：松岡美術館の外観。8：古代東洋彫刻は常設展示されている。

画像提供元：横浜ユーラシア文化館

9：横浜ユーラシア文化館の外観。10：常設展示風景。



展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
こんなに面白い東京国立博物館	新潮社 編	新潮社	2005	069.6 コ
探検！東京国立博物館	藤森照信×山口晃 著	淡交社	2015	069.6 フ
図説イスラム教の歴史	菊地 達也 編著	河出書房新社	2017	167.2 キ
世界の美しいモスク	深見 奈緒子 文・監修	エクスタレッジ	2016	522.7 セ
すぐわかるイスラームの美術	榎屋 友子 著	東京美術	2009	702.0 マ
正倉院	杉本 一樹 著	中央公論新社	2008	702.1 ス
正倉院宝物	杉本 一樹 著	新潮社	2016	702.1 ス
朝鮮民族の美 100点	金 哲央 著	スペース伽耶	2017	702.2 キ
「アラビアン・ナイト」の国の美術史	小林 一枝 著	八坂書房	2011	702.2 コ
東洋美術史	前田 耕作 監修	美術出版社	2000	702.2 ト
井浦新の美術探検	井浦 新 著	東京美術	2014	704 イ

東洋の美術について調べてみよう！

今回ご紹介した他にも東洋の美術に関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考にして調べよう。

東洋美術史	中国美術	東南アジアの美術	仏教美術	イスラム美術
ヒンドゥー教の美術	朝鮮美術	陶芸	モザイク美術	仏像彫刻

2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
万有百科大事典	031 ハ	本町・東中野
日本大百科全書	031 ニ	本町(禁帯)・中央・東中野・野方・鷺宮・江古田

3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの棚]を実際に見て、図書を探そう。

分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
東洋美術史	702.2	仏像	718	東洋画	722
分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
図案	727	書	728	陶磁工芸	751

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



[中野区内に図書があるか]

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

[東京都内に図書があるか]

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

[国内に図書があるか]

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>



4. 雑誌・新聞記事を探そう

●関連の雑誌を調べよう。

雑誌名	出版者	所蔵館
芸術新潮		本町・中央・鷺宮・東中野・江古田

※他にも、「サライ」や「日経おとなのOFF」などの雑誌で、芸術の特集が組まれることがあります。

●中央図書館参考室のオンラインデータベースを使って、調べよう。

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文(収録範囲は媒体によって異なります。1981年9月までは見出しと一部記事の抄録のみ)や企業情報、人事情報が検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から現在活躍中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。



※新聞写真を調べる際は、上記オンラインデータベースのうち、日経テレコン21と聞蔵IIビジュアルを利用して、調べることが可能です。ただし、著作権や肖像権がクリアされていない場合は、写真は表示されません。

本町図書館からのお知らせ

本町図書館「個性ある図書館」展示「エキゾチック・アジア」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

下記の個性づくりの本は展示しています。

第三十八回・日本映画

第三十九回・江戸時代と江戸

第四十四回・報道写真

第四十一回・明治の文学

第一回～第三十七回の
個性づくりの本は
一般書架にあります。

児童コーナー

子ども読書の日子ども会

平成30年5月5日(土)

11:00～12:00

「本町ほのほのだより」
第43号は6月30日
発行予定です。

☆5月・6月の休館日のご案内☆

<5月>

14日(月)

25日(金)

<6月>

11日(月)

29日(金)